



2学期のスタートです 引き締めて

校長 垣崎 晃

ニコニコ顔の子供たちが久しぶりに学校に戻ってきて、今日から2学期が始まりました。子供たちに聞きましたが、夏休みは、宿題や自分で決めた課題にしっかりと取り組めた子が多かったようです。また、おうちの人や先生との約束もしっかり守れたようです。2学期も活発な子供たちをもっと元気にすることができるよう教職員一丸となって努力していきます。

休みに、このような話をうかがうことができました。内容の一部をご紹介します。みなさまはどうお考えになられるでしょうか。

○人間は善を行うべき道徳的本質をもって生まれてくる。だから、よい心が、悪くならないようによい行いをほめてどんどんするようにさせ、悪いことはしないようにきちんとしつけるべきだ。[性善説：孟子 もうし]

○人間は悪い(弱い)心、利己的欲望をもって生まれてくる。だから悪い行いをやめさせるために、よい行いを示して、悪い(弱)い心がだんだんとよい心になるように教えなければならぬ。

[性悪説：荀子 じゅんし]

○人間は白い紙のように善悪の区別のない状態で生まれてくる。生活や社会体制などの後天的な理由で悪になったりする。だからよいことと悪いことの区別がつくように教え、よいことはすすんでするようにさせ、悪いことは教え諭していかなければならない。

[白紙説：ロック]

この3つの説に共通なことは何でしょう。というような内容でした。

共通なことは、「よいことと悪いことをきちんと教えること。よいことをしたらほめ、悪いことをしたらそれは悪いことと教え、しないようにさせる」ことです。そのためには、大人が事実をしっかりと見つめ、判断し、自信をもって毅然と、「自分のすべきことを怠けること」や「友達の邪魔をすること」「いやなことや迷惑になること」は、「やめる」ことをきちんと教える必要があります。

その子の将来にとって、また、子供の集団や社会にとって好ましくないことは、学校でも繰り返し指導していきます。ご家庭においても、お子さまの生活に即してしっかりと話し合い、教えていただくようご協力をよろしくお願いいたします。